

# あすぶつなぐ

社会福祉しずおか

2020

4

No.833



〈特集〉

ふじのくに地域共生大賞

令和元年度優秀賞受賞 龍津寺

P06に  
登場!

小林聖子<sup>しょうこ</sup>さん

県ホームヘルパー連絡協議会会長、ラ・サンテふよう所長。介護支援専門員・介護福祉士。こう見えて、プライベートでは4人の孫のおばあちゃん。一人で映画を見に行ったりパーに行くことが好き。週1でジムに通って健康管理もバッチリ。



編集発行 / 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡市葵区駿府町1番70号 TEL.054-254-5248 FAX.054-251-7508 ✉ spcsw@shizuoka-wel.jp <http://www.shizuoka-wel.jp>

令和2年4月1日発行 1部50円 ※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。



# 優秀賞受賞！ 龍津寺



りょうしんじ

令和元年度ふじのくに「地域共生」大賞で優秀賞に選ばれた、清水区小島(おじま)の龍津寺。お互いに照らし合い、福を分かち合う取り組みを、取材班の実際の体験を通してご紹介します。



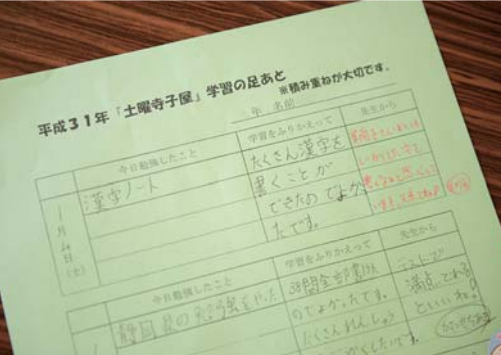
## 体験記1・土曜こども寺子屋

2月15日朝8時過ぎ。お寺に到着すると、まず「ここでは誰もお客様扱いをしないことがルール。皆さんも今日は先生役でお願いしますね」と住職。取材班が緊張しつつ名札を書いていると、子どもたちの元気な声が聞こえてきました。8時30分、寺子屋がスタート。先生一人ひとりの挨拶の後、住職が掛け軸の絵解きと命のお話をしてくれて、子どもたちは興味津々に聴いています。

その後、先生たちに声を掛けられながら学習を進めていきましたよ！学習の時間が済むと「お茶の時間」。こども寺子屋も進んで準備を始め、自主性を感じました。なんと地元の方から一人ひとりずつお菓子の差し入れがあり、子どもたちが淹れてくれたお茶と一緒に美味しくいただきました。片付けや掃除を大人・子ども関係なく全員でやり、最後に見頃を迎えていた境内の桜の前で記念撮影！終始のびのびと楽しそうなおしゃべりしたり遊んだりも

しますが、先生たちに声を掛けられながら学習を進めていきましたよ！学習の時間が済むと「お茶の時間」。こども寺子屋も進んで準備を始め、自主性を感じました。なんと地元の方から一人ひとりずつお菓子の差し入れがあり、子どもたちが淹れてくれたお茶と一緒に美味しくいただきました。片付けや掃除を大人・子ども関係なく全員でやり、最後に見頃を迎えていた境内の桜の前で記念撮影！終始のびのびと楽しそうなおしゃべりしたり遊んだりも

どもたちの笑顔に、すっかり元気をもらいました。寺子屋と聞くと、厳しく、先生対生徒という一方的な構図をイメージしていましたが、ここでは誰もが対等。子どもたちが大人に勉強を見てもらったり話し相手になってもらったりする一方で、先生役の皆さんも子どもの無邪気さや素直さに癒やされている様子。優しくしてもらえると、自然と自分も優しくしたくなる。そんなお互いの存在を、生かし合うことが感じられる場でした。



## 寺子屋ボランティア&子供たちへインタビュー

Q 「寺子屋」のどのようなところが好き？楽しい？

にぎやかなところが良いなと思う。だから寝坊しても頑張ってくる。



小学5年生のみちゃん

違う学年の子とか、学校以外の先生と会えるし、集中して勉強できる。家だとすぐ遊んじゃうから、遊ぶためにも頑張ってる。



小学3年生 光喜くん

Q なぜ「寺子屋」のボランティアを？

興味があつて参加してみたら、思っていた以上に楽しくて。子どもたちがとにかく素直。純粹さに、こちらの方が癒やされます。



由紀先生

僕、小さい妹・弟がいるんです。今、大学生で一人暮らしをしているので、小さい子とふれ合えるのが、とても良い時間になっています。縦のつながりを作りたい子どもたちに来てほしいです。



瞭太(りょうた)先生

朝早いのが苦手、起きる時は「行くのやめようかな」と思つこともありますが、子どもたちが可愛いし、元気をもらえてありがたいです。また来たいと思います。



萌加(もえか)先生



## おじま分福食堂 参加者の声

「字の通り、「福を分ける」場所。私自身、来るたびに福をいただいている。

ただ食べる、楽しむだけでなく、礼儀や学びもある場。

みんなが楽しめる場。

自分が子どもの頃にもあってほしかった！

温かい雰囲気。



これだけ大人数でご飯を食べるのは学校の給食以来。

とにかく安い！

ご飯が美味しい！

しょっちゅうこんなに人が集まるお寺ってなかなかない。

子どもたちが可愛い！

「誰でもどうぞ」という感じが良い。

## 住職のおはなし

龍津寺 住職・勝野秀敏さん

「幸せの分かち合い」＝「分福」をテーマに、「土曜子ども寺子屋」でも「おじま分福食堂」でも、「与える」「与えられる」「関係でなく、大人も子どももお互いに支え合う」喜びを感じてもらえたらと思って活動しています。子どもたちは、いずれこの町を離れることがあるかもしれませんが、でも、この町での経験をふと思いつき、地元に戻りたいと思うきっかけや、大変な時の心の支えになったら、これ以上の喜びはありません。以前この地域の小学校の校長先生だった方が、退職後もこの地域

との関わりを大切に感じて分福食堂に来てくれました。その時、高校生に成長した教え子と一緒に食事をする姿を見てとても嬉しかったですし、分福の意味や続けることの大切さを改めて感じました。年齢や性別、家庭環境などに関わらず、分かち合い、支え合う関係性を育む場として継続していきたいです。

た方が、退職後もこの地域



**龍津寺** (りょうしんじ)  
静岡市清水区小島にある臨済宗妙心寺派の禅寺。450年の歴史がある。現在、「土曜子ども寺子屋」、「おじま分福食堂」のほか、通学合宿の受け入れや写経会、座禅会、ヨガなど、地域の方が集まり交流する場として開かれている。

## ふじのくに「地域共生」大賞とは

静岡県社会福祉協議会では、「全ての世代の人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合う地域共生社会の実現」と「福祉分野と福祉以外の分野との協働促進」を図る活動を毎年表彰しています。

[特に先駆的な取り組みを表彰]

### 優秀賞特典

1. 活動内容をPR出来る紹介映像の作成
2. 専門化による活動内容のブラッシュアップ  
(広報宣伝力、活動継続力、マーケティング力の向上など)  
※優秀賞以外に奨励賞など表彰しています。

### 予告 令和2年度ふじのくに地域共生フォーラムの開催

令和元年度の受賞団体の表彰・活動報告とともに地域づくりの経験から相互に学び合うことを目的に本フォーラムを開催します。また、令和2年度ふじのくに「地域共生」大賞の募集を開始します。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

[日程] 令和2年7月7日(火) 13:30~16:00(予定)

[会場] クーボール会館(静岡市葵区紺屋町2-2)

**お問い合わせ** 静岡県社会福祉協議会 地域福祉課 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 TEL.054-254-5224  
FAX.054-251-7508 volucen@shizuoka-wel.jp

<http://www.shizuoka-wel.jp/chiiki-kyousei-taisyou-forum/>

ふじのくに地域共生大賞の詳細や令和元年度ふじのくに地域共生フォーラムを報告していますのでご覧ください。

※今後の予定につきましては、詳細が決まり次第、県社協ホームページなどにてご報告を致します。

## 体験記2 おじま分福食堂

2月20日17時。すでに、ボランティアの皆さんにより料理の準備が進んでいました。70〜80人分を用意するため、大きな鍋やボールがずらり。献立の品数が多いので手を休める暇はありませんが、慌ただしいというよりも皆さんが自然と連携して、朗らかな雰囲気で作業が進みます。

18時を過ぎると、参加者が集まり始めました。小学生、中学生、高校生、ご年配の夫婦、親子で来る人もいれば、子どもたちだけという場合もあり、様々な人が分け隔てなく訪れていることがわかります。配膳が始まれば、ボランティア、参加者の区別なく全員が自然とお手伝い。中には受付を担当している子もいました。取材している子もいました。取材班も、調理は手伝えなくても、配膳は少し協力できました！そして、人と料理が揃ったところで「いただきます」。挨拶は住職が子どもの一人を指名。自分にも何かできることがある、役割を与えてもらえることで、一人ひとりがその場と一緒にくっついているように感じられる、これこそが「共生」のあり方だと感じました。さらにこの日は特別。デザートに清水駅前のカラオケ店の方が活動に賛同して、なんとケーキを無償で提供してくれるというサプライズ子どもたちの嬉しそうな顔を見て、幸せな気持ちで部屋中に広がった気がしました。

食事の後は、子どもたちは境内で遊んだり、DVDを鑑賞。大人は団らんのひと時。学年に関係なく一緒に遊ぶ子どもたちの姿、普段は家事で忙しいお母さんたちがのんびりおしゃべりする姿は、理想に思う人は多くてもなかなか実現するのが難しいもの。それがこの龍津寺では月1回行なわれているということに、改めて素晴らしいと感じます。そして何より、思いを送り合い、嬉しさを分かち合う幸せを実感させてもらいました。食事もちろん美味しく、お腹も心もいっぱい。ごちそうさまでした。

# 福祉の“中の人”

様々な福祉の仕事について、具体的な内容や魅力を、実際に働いている人に直撃!リアルな声をお届けします。

case.1  
静岡県ホームヘルパー  
連絡協議会 会長  
指定訪問介護事業所  
ラ・サンテふよう 所長  
小林 聖子  
kobayashi shouko



「ホームヘルパー同士は、お互いに家族のような存在」



ホームヘルパーとして20年という小林さん。「現場が好き。定年まで、訪問介護を続けたい」と言うほどの、ホームヘルパーの仕事とその魅力を伺いました。

**Q ホームヘルパーとは具体的にどんな仕事?**  
高齢者や障がい者の自宅を訪問し、ニーズに合った身体介護や生活援助、通院等の同行援助を行います。生活援助には家事の援助もあり、家政婦のように「何でもやってくれる」と思われがちですが、ホームヘルパーが目指すのは「自立支援」や「重度化予防」。利用者が機能的にできないことだけ援助し、できることは自分でやってもらいます。

**Q ホームヘルパーの魅力や長所は?**  
利用者の方が元気になる、状態が良くなる様子を目の前で見られる、手応えがある仕事です。例えば、ある92歳の男性は奥様を亡くしてから食事がおろそかになり、体重が減ってしまっていました。当初はヘルパーに食事を作ってほしいという依頼でしたが、「調理補助」をご提案。一緒に調理をすることで食事はもちろん、買い物や生活への意欲が増し、体重も増加しました。訪問を心待ちにしてくれている方、何度も「ありがとう」と言ってくれる方もいて嬉しいです。1日の終わり、体は疲れていても気持ちが高揚していることがよくあります。

**Q 大変そうなイメージがあるのですが...**  
ホームヘルパーはチームで仕事をするもの。一人の利用者を一人のヘルパーだけがずっと担当するということはありませんし、事務所に帰ってくる、お茶やお菓子をいただきながらお互いの状況を話します。ヘルパー同士は家族のような存在なんです。現場では一人でも、訪問介護のこと、その大変さをわかってくださる人がいるという心強さがあります。

**Q 休みは取れますか?**  
希望の有休は必ず叶えるようにしています。調整は大変ですが、お互いに協力し、どうしても調整がつかない時には利用者に相談して時間調整などをさせてもらいます。私自身、所長になって2・3年経った頃にとっても辛い時期がありました。休みの取りやすさを知っている、休みの希望には常に配慮するようにしています。

今月の

# Information

福祉にまつわる様々なお知らせや取り組みをご紹介します。あなたの暮らしに役立つことがあるかもしれません。

## 県社協への寄附金

ありがとうございました

静岡県  
行政書士会様から

本会(一般寄附金)へ100,000円をご寄附いただきました。生活困窮者の自立支援事業や権利擁護事業に活用されます。



左)静岡県行政書士会会長 平岡康弘様  
右)本会 常務理事 松浦康夫

静岡県社会福祉協議会団体割引10%を適用いたします!

〔共済契約者及び被共済者が当組合で定める条件を満たす場合のみとなります〕

### 自動車保険、見直しのチャンス!!

- 会員の皆様、会員の同居のご家族、会員事業所にお勤めの従業員その同居のご家族もご利用頂けます
- 他社からの等級割引の継承可能です

<お問い合わせ> 静岡県袋井市川井205  
関東自動車共済協同組合 TEL: 0800-2000-109  
代理所静岡県共済センター(株) 承認番号1903-000711300

## 施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

### カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

### カーペット・タイル出張丸洗い



洗浄前  
洗浄後

### ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナツ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1 0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

# ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 入院中の手術	65,000円	
	保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	X	O
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

<基本プランに加入される方へ>  
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。  
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。  
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

商品パンフレットはコチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

# 福祉の現場からこんにちは!

このコーナーでは、福祉の現場で働く人からの知恵や工夫、日常的に利用できる情報を提供していきます。福祉をより身近に感じるとともに、読者のあなたの生活にもぜひ活用してみてください。

## 介護施設職員が伝授! 介護のコツ

特別養護老人ホーム  
竜爪園 齋藤英輔さん



立ち上がる時は、`前方にスペースを作る、ことがポイント!

1.椅子を引くなど前方にスペースを作る。2.テーブルや手すりに手をつきながら立ち上がる。3.介助者がお尻のあたりを軽く前に押す。ズボンの後ろなどを引っ張り上げる`力技、は、介護する側・される側どちらも大変なので禁物!



## 便利グッズでラクラク介護!

「ヘッドライ手袋」で、髪の乾燥時間を短縮。

時間がかかるけれど、風邪を引いてしまわないように欠かせないのが、入浴後の髪の乾燥です。ヘッドライ手袋をドライヤーと併用することで短時に現場からも「使ってみたら良かった」とお墨付き。日常的にも使えるアイテムです。



「ヘッドライ手袋」  
100円ショップなどで購入可能♪

## みんなにやさしいレストラン

- Vol.1 -

### レストラン クオモ

静岡市清水区真砂町3-27

☎ 054-366-8783

🕒 11:30~14:00 (L.O.13:30)

18:00~21:30 (L.O.21:00)

📅 火曜日、日曜日夜休み(月曜が祝日の場合は月曜夜)

🌐 有 📍 <https://hotelquest.co.jp/quomo/>

入口までスロープあり。



駿河湾レシビランチ 一人 3,000円(税別)  
(2人~、前日15:00までの要予約)

シェフの青木さんが医師と共同で考案した「駿河湾レシピ」。フルコースを食べて700kcal以下、糖質40g以下、塩分3g以下になるよう計算して作られています。低糖質パスタやパン、砂糖不使用のデザートもついてくるので、食事制限のある・なしに関わらず美味しく健康的な食事を楽しめますよ。



Facebookでも連載中!  
「@shizuokaken syakyou」で検索してね!

## 静岡県社会福祉協議会ふれあい基金 助成団体募集のお知らせ

静岡県内のNPO法人やボランティアグループ等が行う地域福祉・ボランティア活動事業に対して助成を行います。

### ◎ 活動推進助成

地域福祉・ボランティア活動、子育て支援活動に関する事業費に助成



1グループ30万円以内

### ◎ 先駆的(モデル的)活動助成

制度の狭間にある福祉(生活)課題の解決に向けた事業で、事業計画が具体的で一定の成果が期待できる先駆的(モデル的)事業費に助成(書類選考後、プレゼンテーションを実施します)



1グループ100万円以内

### ◎ セルフヘルプグループ活動支援助成

高齢者や障がい者等が中心となるグループで、自立・自助活動を通じて、地域福祉・在宅福祉の向上に向けた取り組みに助成(市町社会福祉協議会等の推薦が必要です)



1グループ30万円以内

### ◎ しずおかの居場所助成

静岡県内において居場所(こども食堂含む)の開設・運営を行う事業に助成



1グループ15万円以内

申込締切は 5月8日(金) です。詳しくは本会ホームページをご覧ください。 <http://www.shizuoka-wel.jp/>